

日高地区概況

令和6年7月1日現在
 世帯数 9,268
 人口 20,982
 男 10,233
 女 10,749

※この概要は日高支所管内の統計による



第219号

発行日 令和6年7月20日
 発行 日高学区市民自治会
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>
 代表者 志賀 勝 弘
 編集責任者 田所 剛
 印刷 おぎつ印刷

町内会の維持存続が話題

市民自治会の本年度の支部役員のご皆さんが、2、3支部ごとに集い、自治会活動の課題などについて本部役員と意見や情報の交換を行うための支部懇談会が行われました。



交流センターで行われた支部懇談会

懇談会では、支部役員に關係する行事や募金などについて、また高齢者対応の様々な福祉活動について本部から説明がありました。後半は、志賀市民自治会会長の進行で、自

マシコタツロフが戻って来る!

おんもさ祭り8月4日開催

昨年、4年ぶりに再開され多くの人が出で賑わった日高おんもさ祭りが今年も開催されます。今年、茨城出身の作詞・作曲家としてラジオパーソナリティとしておなじみのマシコタツロウさんが7年ぶりに戻ってきます。

さ祭りに参加しておんもさも(めいっばい)夏を満喫しましょう! 祭りの最後には豪華景品の当たる抽選も予定されています。詳細は7月20日に日高学区全家庭に配られる抽選券付のチラシをご覧ください。

自治会活動について、話し合いが行われました。支部役員からは、例年に増して、町内会の解散や退会者が増えている現状について多く話題に上がりました。

その対策として、高齢の人には役職を外してあげる、とか、町内会員に行事への参加を無理強いないようになっているなどの方策が報告されました。各家庭からの福祉などの募金集めをやめたという町内もありました。本部役員への連絡文書の電子化や再生資源の地域での当番制の廃止などの要望もありました。志賀会長からは、「社協

地域の環境美化は自分たちで



東連津川下流域の清掃の様子

5月25日、今年度1回目の東連津川流域の草刈り等の作業が会員59人の参加で実施されました。今回は河川改修工事の関

などへの募金は、現在、地域で実施している様々な福祉活動や地域防災の資金にもなっていることで、ご理解いただき引き続きご協力をお願いしたい。様々な要望には、行政にあげたり、事務局と相談したりしてできるだけ沿えるように進めていきたい」との話がありました。

係で中山橋付近と河口付近の2箇所が中心でした。90歳を超えて刈払機を使う毎参加の方は「地域の為だし、コミユニケーションの場になっていく」と話してくれました。

6月2日は各支部、町内ごとの一斉清掃でした。草刈りやゴミ拾いを中心に実施され、地域が清々しくなりました。

行事予定

- (7月20日～9月20日)
- 日高学区市民自治会
- 再生資源拠点回収
- 7月28日(日)8月25日(日)
- 東連津川清掃活動
- 7月20日(土)
- 東連津川各流域
- 地球温暖化防止への

出前講座 「地球温暖化防止への私達にできること」

講師 茨城県地球温暖化防止活動推進員 茨城県環境アドバイザー 齋藤 保夫氏

役員会報告

- 7月27日(土)PM11:30 日高交流センター
- 日高おんもさ祭り
- 8月4日(日)
- 日高つ子体験村
- 8月21・22日(水・木)
- 日高クリーニングアップデー
- 9月1日(日)
- 日高学区敬老会
- 9月16日(月・祝)
- 日高交流センター体育館
- 6月10日の役員会で次のことを協議しました。
- *日高学区自主防災訓練
- *支部懇談会開催
- *おんもさ祭りの開催
- *日高小・中あいさつ運動
- *地球温暖化防止への出前講座
- *福祉の事業関係
- *避難行動要支援者、安心安全ネット 名簿の確認作業他

自助、共助で 日高学区自主防災訓練



防災士による救命救急訓練

6月22日、日高学区市民自治会の自主防災訓練が日高交流センター及び日高小学校体育館で開催されました。

日高体育館には自主防災本部が設置され、志賀本部長より各班への訓練指示書による訓練が開始、参加者は約180人で支部福祉協力員などを含めると約200人が訓練に協力しました。市民自治会自主防災組織の機能訓練と災害時における避難行動要支援者安否確認訓練や避難所での初動体制確認訓練と合わせ、日立市職員による日高小学校避難所における避難所運営訓練が実施されました。市の職員と自主防災の担当者、日高小学校体育館の避難所運営に行きパーテーションの組み立てや避難者の受付などの運営機能確認などを行いました。

避難行動要支援者安否確認訓練では、学区内で民生委員と連携した支部福祉協力員45名が、要支援者に対しての安否確認と支援物資配布訓練に協力しました。訓練中一人暮らしの要支援者の異常も見つかり、消防署員による緊急搬送により予定していた救命救急訓練とAED訓練が、防災士による心肺蘇生訓練に変更になった場面もあり、会場では防災減災ヒテオ放映と台風13号時の日立市の豪雨災害写真及び東日本大震災時の日高学区の活動状況の写真展示もありました。

報告訓練では豪雨時の氾濫、地震の際の倒木、空き地の雑草など支部役員からの危険個所の報告が28件あり、防災本部では市と学区での対応を進めていくこととなります。支部福祉協力員と本部防災部員が協力し



日立市職員と避難所を開設

要支援者の避難所への避難支援を行う模擬訓練もあり、最後は炊き出しのトン汁とおにぎりで訓練を終わりました。

日高文化協会 「趣味の体験教室」



仕上がった作品と共に

6月23日、今年で2回目となる絵画体験教室と切り絵体験教室が日高交流センターにて行われました。切り絵教室では、初心者ばかりでしたので関根勘次先生の指導のもと、カッターの使い方からの体験となりました。

「もちもちの木」の挿絵で有名な茨城県出身の切り絵作家滝平二郎の話も交えた丁寧な指導のお陰で、参加者はミリ単位の細かい線を上手に切り出していました。1回目の参加者達は「ゆりの樹」という自主グループをつくり、文化祭に向け日々作品作りに励んでいるそうです。

絵画教室では日高地区美術協会会員の6名が講師となり、「色鉛筆画」を画用

紙とコースターに描く体験を行いました。

絵の好きな方が多く参加されており、夏の草木や風物詩が上手に白い用紙に描かれ、色付く様に夏の到来を感じました。今年の日曜日の開催にも関わらず、お子様連れの参加者がおりました。

講師の先生は「次回は若い世代にも体験していただき、夏休みの開催も検討してもらいたい」とおっしゃっていました。

おはようを元気に

日高小・中あいさつ運動

登校する日高小、中学生と朝の挨拶を交わす「あいさつ運動」を小学校が6月

14日、中学校が6月20日にそれぞれの校門にて実施しました。

PTA役員、児童・生徒代表、先生方と共に、日高学区市民自治会からも10数名がのぼり旗を持参して参加し、元気に「おはよう」の挨拶を交わしました。両日とも快晴に恵まれたなか、元気に挨拶をするほほえましい状況が見られました。



元気に登校する日高っ子

子どもたちにはそれぞれ個性があり元気に声を交わす者、はにかみながら恥ずかしそうに声を出す者など様々です。

少子化が騒がれて久しく、将来の日本が危ぶまれる昨今です。

子どもたちは国、地域の貴重なたからものです。

将来を担う「日高っ子」が元気に登校する姿を見て勉強に、スポーツに「頑張れよ」「将来世の中に役立つ立派な人間に成長しろよ」と思わず声を掛けたくなるようなひと時でした。

小さな輪 大きな輪

グループかがやき

毎月第1、第3月曜日に日高交流センターで手芸を楽しんでいるグループがあります。小野セツ子さんが代表を務めている「グループかがやき」の皆さんで、会員は現在5名です。

かわいいものを作る楽しみを求めて有志が集まり、平成30年3月から講師に唐司美香子さんを招き「仲良く楽しく」をモットーに活動しています。

会員のお話では「最初は経験不足から縫物は苦手とっていましたが、コツさえ覚えれば上手になりました。」とのこと。布の種類や柄によって作品の表情も変わり



面白いそうです。また、そうした製作用の端切れを会員同士で融通しあうのも楽しみの一つとのこと。

今年は十二支をメインテーマとしてつるし雛と小物の製作に励んでいます。来年は高萩の穂積家で作品の展示発表会を予定しており、その準備中とのこと。

この発表会には高萩の姉妹教室も一緒に参加します。その仲間たちと小旅行を楽しむ機会もあるそうです。

興味のある方は、ぜひ見学にいらしてくださいと小野さん。小物を作ってみたい方は足を運んでみてはいかがでしょうか。(山口哲司)

令和6年度からは新体制で 日高学区シルバーハビリ体操

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、指導士10名のもとシルバーハビリ

体操を開催しています。65歳以上の男女合わせて40名が会員登録し、毎月第2・第4火曜日の10時から、日高交流センター2階1号室で健康増進を図っています。



「寝てする体操」を伝授

昨年度までは、女性教室と男性教室で分けて活動していましたが、時折、合同開催を実施していたところ楽しいと好評でした。この楽しさを継続させたいと今年度より合同開催に切り替えました。新体制になっても

親子でかわいい人形劇鑑賞 おもちゃライブラリー

日高学区市民自治会社会福祉委員会のおもちゃライブラリーは、就園前の親子を対象に毎月第1・第3水曜日の午前中、日高交流センターで開催されています。

6月5日は、7組の親子がいつものおもちゃ遊びを楽しんだ後、自主グループ「ふしぎなたね」や、大型絵本「ハンドベルの演奏を鑑賞しました。いつもと違う環境にお母さんの腕の中で不安そうな表情の子、大好きな



親子の時間を楽しみました

キャラクターによるこぶ子がいきました。参加した親子は思い思いの時を過ごし「楽しかったね」と、笑顔で帰っていききました。16名の演者の皆さん、今年も素敵な時間をありがとうございました。

変わらず活気があり、皆さん楽しんでます。参加者からは、「合同開催になったことで、毎回賑やかになりました」との声が聞こえてきました。

先に会員になっていた奥さんの送迎をきっかけに教室を見学し、ご夫婦で参加するようになったという方もいました。

シルバーハビリ体操は、無理なく全身の筋肉や関節を動かす、体操を通して健康寿命を延ばすものです。指導士は継続が大切と、自宅でもできるような「寝てする体操」の動きを示したり、高齢者向けの紙芝居を活用するなど、いつまでも健康でいられるよう工夫を凝らした指導をしています。

これからの活動も新しい情報を取り入れ、会員のためのシルバーハビリ体操を行っていきそうです。興味のある方は、ぜひご参加ください。

和田高子さんが 瑞宝単光章を受章

東本宿に住いの和田高子さんが「令和6年度春の叙勲」を受けられました。



グラウンドゴルフ大会

去る5月23日、南静公園において日高学区高齢者クラブのグラウンドゴルフ大会が開催され、審判、応援を含め29名の参加者があり、優勝を競いました。その結果1位小野セツ子さん、2位市村豊信さん、3位窪木洋子さんとなりました。上位12名は6月11日に開催された日立市の年輪スポーツ大会に出場されました。



南静公園に集うみなさん

わたり、各種統計調査業務に尽力されたことが認められたものです。調査回数も123回に及び日立市で1位ということでした。授章式は、5月10日に「ホテルニューオータニ」で行われ総務大臣より勲記、勲章の伝達を受けました。その後、皇居において天皇陛下から拝謁の栄と、お言葉も賜りました。

今後、今回の榮譽に恥じないように「微力ではあります但業務に邁進していきたい」と語っていました。

ふるさと 郷土 ひたか (27)

陸前浜街道（前編）

日高学区を南から北東方向に貫通するのが陸前浜街道である。

この名称は明治5年（1872年）に武蔵国の千住から陸前国岩沼までの太平洋沿岸の街道を「陸前浜街道」とする国からの通達による。

その後、正式名称は第五国道、国道6号等へと変更されたが、依然としてこの名称が使われ続けている。

この道は、日高学区の南西部、田尻学区からの切り通しを超え、小木津駅前を過ぎた交差点を右折、郵便局前、常磐線の踏切りを過ぎ、澳津説神社前の二股の道をそのまますすぐ進む。

（この二股を左に進み、安寿院「報徳集会所」の北側を通るのがより古い陸前浜街道であり、小木津浜の手前で現在の陸前浜街道に合流している）

右側に日高小学校の新しい校舎を見てさらに進むと道はなだらかに下り坂となり、国道6号線の高架橋の下をくぐると前方に海が見えて来る。

その先で、高磯方面からの海岸沿いの道が右側から合流し、そのまま小木津浜の集落を通り、東連津川が太平洋に注ぎ込む東連津橋

松並木 澳津説神社 陸道（現在は切り通し）



明治四十年発行の地形図に見える浜街道

に行きつく。橋を渡るとかつての宿場町川尻へと続いていく。この道沿いには、古くからの人家や商家、そして神社等が残っており、当時から地域の中心的な街道として賑わったことが伺える。

「東連津風土記」をもとに作成
旧陸前浜街道
国道の呼称は、時代により岩城相馬街道、陸前浜街道、国道六号線等と変わって来たが、道筋もまた変わる。左の地図は明治四十年発行のものである。
地図上で並木印の見える道（現在の中学校の北側を通る道）には慶長年間（1603～1615年）に松が植えられ、その後も幕府の保護政策により植継ぎされてきたが、今はもうない。
昭和30年代には、更に現在の6号バイパスが完成し、この地図ではピカピカの新道であった道も旧国道と呼ばれるようになって久しい。

小木津の里を巡る

ジオツアー開催



澳津説神社

高交流センターを出発しました。澳津説神社の三十六歌仙絵馬を拝観後、市指定天然記念物のシイの大木と首なし地蔵を巡り、西町の地蔵をお参りしました。



常磐線下のトンネル

明治時代に田んぼの灌漑用水を通すために設けられた常磐線下のレンガのトンネルを通り、新築観音から折笠スポーツ広場に向かい昼食となりました。その後、松木下団地の地層を見学し、湧水や東連津川の川床等の説明を受けて、陸前浜街道を辿り日高交流センターに戻りました。案内人のわかりやすく興味深い説明があり、参加者たちは普段は立ち入れない場所にも入り、説明に聞き入っていました。

小木津の一角は悠久の時を刻みながら、ジオの恵みを受けて先人から代々生活を受け継いできたことを感じさせる場所であり、まさに誰かに話したくなるようなジオツアーとなりました。

あの人この人

日高中学校長 芳賀俊英さん (58歳)



「安心して楽しく学べる学校づくり」

「生徒一人ひとりに『思いやりの心』を育て、安心して楽しく学べる学校づくりを進めたい。そうなれば、293人の在校生はのびのびと積極的に学校生活を送ることができ、自らの力を発揮することが可能になる。」

その後、高校まで松戸市でお過ごしになり、現在は諏訪町から通勤されています。銚田市の中学校で教員生活をしてスタートし、ガムの日本人学校や教育事務所での勤務も含めて取手市から北茨城市まで県内6つの市町村立学校を歴任し、まさに引越しの連続だったそうです。それだけに幅広い知識を感じさせてくれました。

日高中学校は、校長職3校目だそうです。海も山も近くにあり、学校に協力的な自治会の組織とその事業に大いなる関心を持たれていました。自らも今年度は諏訪学区自治会の役員を任されています。

また、どの学校も生徒数の減少等から部活動の運営が難しく、今年度から市内総体がなくなり、最初から県北総体になったと話してくれました。趣味は、若い時にはサイクリングに興じて高知県や富士山近くまで行ったそうですが、今はドライブとのこと。

（豊田賢一）

リンパマッサージで疲労回復!!

健康推進部は交流センターだよりで地域の方に呼びかけ6月6日、20日に健康講座「yoshiie先生によるリンパ体操」を行いました。



ゆったりとした気持ちでね!

参加者は50代から80代で延べ58名でした。多くの方はリンパマッサージが初めてで、中には親子で参加されている方もいました。最初に「リンパは、ゆっくりと優しくさすったりゆすったりしていくと、老廃物が流れ、徐々に血流が良くなり疲労が取れ顔色も明るくなります」との説明を

東連津

松ヶ丘支部長 齊藤 泰智

4月から松ヶ丘の支部長を務めており、早いもので2ヶ月が過ぎました。何もわからず、目の前のことに精一杯で、色々な方にご迷惑をお掛けしてしまいました。

支部長になって思うこと

松ヶ丘でも町内会員の負担を軽減させるために、町内の草刈を町内実施から外部委託にしました。このように負担を軽減させていくことで、退会される方を減らすことが出来るのかと思っています。町内会役員さんの業務も軽減できればと思います。何事もそうですが、押し付けるのではなく皆で助け合えるような自治会、社会になっていってほしいと思います。また、他支部の取組を教えてくださいたいです。

暑さに負けずいろいろな行事を楽しもう

①夏休みチャレンジ!

ひたかラジオ体操 元気な子どもたち みんな集まれ。たくさん参加した人には参加賞が出ます!

7月20日(土)〜8月31日(土) 毎朝6時25分、日高交流センター広場

②日立市一斉ラジオ体操の日 子どもも大人も一緒になってラジオ体操考案者出身のまちを盛り上げよう!

7月21日(日)6時25分、日高交流センター広場

③民話教室(ひたか民話の会共催) 地元で伝わる民話を聞いてみよう!

7月24日(水) 日高小児童クラブ

④地球温暖化防止出前講座 気候変動対応や温暖化を

防止するために出来ることを学ぼう。

7月27日(土)13時30分、日高交流センター

⑤日高つ子体験村 小学5・6年生が対象。1泊2日の宿泊体験で夜の学校探検やスタウウォッチングなど楽しい体験が盛りだくさん。

8月21・22日(水・木) 参加者は小学校で募集。

編集後記

今年も支部懇談会が実施され、どの会場でも退会者が増えていくとの事。役職業務は少なくなっているが、更なる改善を。一方互助精神で当番を代わるなど対応を進めて欲しい。小、中のあいさつ運動のように、隣人と元気に挨拶をし、声を交わす昔の「向こう三軒両隣り」の復活も。(菊地)